

# 核医学診断・治療のためのRI利用推進シンポジウム

## — $^{64}\text{Cu}$ ・ $^{67}\text{Cu}$ ：核種製造と治療薬創製の展望 —

日 時：2021年5月20日(木) 13:00~17:30

開催形式：オンライン Zoom

主催：株式会社千代田テクノル

後援：公益社団法人日本アイソトープ協会、東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター

参加費：無料

参加申し込み：右のQRコードを読み取り、

または下記URLから参加申請フォームに記入、送信してください

<https://forms.office.com/r/wTrBxCzeQK>

ご記入いただきました個人情報は、本シンポジウム開催目的以外に使用しません



締め切り：5月17日(月)

プログラム：言語：英語、日本語（同時通訳あり）

| 開始時間  | 講演   |
|---|--|
| 13:00   | 開会挨拶<br>細田敏和（株式会社千代田テクノル 代表取締役社長）  |
| セッション1：加速器中性子利用医療用RI製造システム / 座長 川端方子  |  |
| 13:05   | 1) RI製造法<br>永井泰樹（株式会社千代田テクノル 大洗研究所 特別研究員）  |
| 13:25   | 2) $^{64}\text{Cu}$ $^{67}\text{Cu}$ 分離精製<br>川端方子（株式会社千代田テクノル 大洗研究所 主任研究員）   |
| 13:40   | 3) DATEプロジェクト<br>渡部浩司（東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター センター長）   |
| セッション2： $^{64}\text{Cu}$ $^{67}\text{Cu}$ 標識放射性医薬品の開発と臨床治験の海外状況 / 座長 川端方子     |  |
| 13:50   | 1) Theragnostics with Copper Radiopharmaceuticals: Developmental Chemistry and Preclinical Evaluation<br>Paul Donnelly (School of Chemistry, Bio21 Molecular Science and Biotechnology Institute, University of Melbourne, Professor in Chemistry) |
| 14:30   | 2) Clinical Development of Cu-64 / Cu-67 Theranostic Products<br>Matt Harris (Clarity Pharmaceuticals, Chief Scientific Officer)   |
| 15:10   | 休憩 15分   |
| セッション3： $^{64}\text{Cu}$ $^{67}\text{Cu}$ による核医学治療のための創薬研究 / 座長 佐治英郎（京都大学 教授） |  |
| 15:25   | 1) $^{67}\text{Cu}$ を用いた効果的・効率的ながん治療の可能性<br>飯田靖彦（鈴鹿医療科学大学 薬学部薬学科 教授）   |
| 15:55   | 2) ラジオセラノスティクスのための薬剤開発<br>小川数馬（金沢大学新学術創成研究機構 教授）   |
| 16:25   | 3) 非特異的腎集積を低減する放射性ガリウム / 銅を用いた抗体フラグメント標識薬剤に関する研究<br>上原知也（千葉大学大学院薬学研究院 分子画像薬品学研究室 教授）   |
| 16:55   | 4) がんの核医学治療に資する小線源型放射性薬剤の開発<br>佐野紘平（神戸薬科大学 薬品物理化学研究室 准教授）  |
| 17:25   | 閉会挨拶<br>柴田徳思（株式会社千代田テクノル 大洗研究所所長）  |

### お問い合わせ先

〒311-1313 茨城県東茨城郡大洗町成田町3681

株式会社千代田テクノル大洗研究所

川端方子

e-mail: oairaid-rithd@c-technol.co.jp